神納地域まちづくり計画

１　地域の特色、課題

神納地域は、神林地区の東部に位置し、岩野沢、山田、飯岡、桃川、河内、南大平、指合、殿岡、小出、有明の１０集落が、平野部から山間部に点在しています。

自然環境が豊かな地域で、平野部は大部分を広大な水田が占めています。山間部には大平山、木原木山があり、特に大平山は登山道が整備され、付近は星空がきれいに見える地域の日本の上位にランクインしたところです。そこに天体観測施設のポーラースター神林や南大平ダム湖公園が整備されており、登山や夏場のキャンプ、星空観測（定期公開）などに利用されています。また、石川、百川２本の川が流れ、上流ではホタルの舞う清流域となっています。

主な産業は農業で、圃場整備された水田での稲作が盛んに行われており、神林地区の岩船産コシヒカリの主要産地になっていますが、年々農業従事者数は減少しています。

地域の人口は、住民基本台帳で比較すると平成 24 年１月１日の 2,026 人から平成 27 年１月１日の 1,924 人と 102 人（減少率 5.0%）減少しており、子供の人口も年々減少しています。

各集落では、平成 24 年度から「市民協働のまちづくり」が始まり、集落内での交流会などを通じて、年々子供からお年寄りまでの交流と親睦が少しずつ図られてきていますが、依然として少子高齢化が進む中、若い世代での地域コミュニティ活動への参加意識は希薄化してきており、今後、更なる地域行事への参加と住民意識の向上が課題となっています。

２　地域まちづくりの基本方針、将来像（目標年度：平成 29 年度）

恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

３　具体的な取り組みの方向性、実施事業等（計画年度：平成 27 年度～平成 29 年度）

基本方針	取　り　組　み　の　方　向　性
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	・引き続き環境整備や防災活動などこれまでの集落での取り組みを重視し、集落内での交流会などを通じて交流を図り、住民意識の向上と参加者の増を図る。 ・地域での交流を深めるため、地域全体でのイベントを開催する。 ・まちづくりを進めるための情報収集活動として、視察や講演会などの研修を開催する。 ・神林地区全体での敬老会へ参画する。

４　事業計画年度

基本方針	事業項目	実施年度			備　考
		27	28	29	
恵まれた地域の自然を活かし、地域内の交流をいっそう深めるとともに、みんなで協力し支えあいながら、安心して暮らせるまちづくりを目指す。	集落内での交流会の開催	→	→	→	
	地域全体でのイベントの開催	→	→	→	
	視察や講演会などの研修を開催	→	→	→	
	敬老会への参画	→	→	→	